

# 新庁舎建設かわら版 ～第10号～

## 新庁舎建設基本計画（案）のパブリックコメント（意見募集）実施結果

耐震性に問題のある市役所本庁舎の建替えにあたり、建設場所、規模、導入機能、整備スケジュールなど新庁舎の整備方針となる「各務原市新庁舎建設基本計画」を策定のために

「各務原市新庁舎建設基本計画（案）」について、平成28年4月4日（月）から4月25日（月）にパブリックコメント（意見募集）を実施し、109人の方からご意見をいただきありがとうございました。

ご意見は趣旨を損なわない程度に要約し、できる限り内容ごとに整理・分類させていただき、左記の279件に分類いたしました。

かわら版第10号では、新庁舎の必要性和新庁舎の機能、事業にあたっての留意事項に関する主なご意見の概要をご紹介します。

※詳細については、市ウェブサイトのほか、市役所本庁舎1階市政情報コーナー、市民サービスセンター、総合福祉会館・福祉センター、ライフデザインセンター（中央ライフデザインセンターを除く）、中央図書館・川島ほんの家・もりの本やさんにて、ご覧ください。

分類	意見件数
1. 新庁舎建設の必要性	13件
2. 新庁舎の建設場所	18件
3. 新庁舎の規模	7件
4. 新庁舎の機能	164件
5. 事業手法等	7件
6. 整備スケジュール	4件
7. 財政計画	4件
8. 事業にあたっての留意事項	17件
新庁舎建設事業の進め方・新庁舎に望むご意見	40件
市政に関するご意見	5件
合計	279件

### 新庁舎建設の必要性

#### 主な意見の概要

- 防災拠点として十分に機能できるよう、中途半端な耐震工事より建替えを。
- 財政に余裕があり実施するのだと思うが、免震工事とリフォームで30年以上使える。
- 部分的な補修では損壊の恐れがある。人口減少の傾向は本市も避けられず、経済的体力のある今から対応しなければ、将来の市民への経済的負担が重くなると懸念される。
- 改修も出来るという意見も耳にしますが新しくするのが無駄とは思えません。建て替えも改修も一長一短があると思うので、市制50周年ですし、新庁舎が良いと思います。

#### 市の考え方の概要

本庁舎は、耐震性の問題に加え、設備の老朽化、狭あい化、バリアフリー等の課題を多く抱えています。

南海トラフ巨大地震がいつ発生しても不思議ではない中で、市民サービス、防災の拠点となる新庁舎の建設は喫緊の重要課題であり、早期の完成に向けて取り組む必要があります。

耐震補強や免震補強で対応した場合でも、計画・設計・工事に要する期間は新庁舎建設と同程度かかると考えられ、補強後約20年は使用し続けるために、老朽化した設備の改修等をあわせて行う必要があること、さらに、約20年後には改めて新庁舎建設の検討が必要となることから、二重投資となり市の負担がかえって大きくなってしまう可能性があります。

（平成28年5月発行）

お問い合わせ先

各務原市 企画総務部 管財課 庁舎等建設係

電話：058-383-1619（直通）

市ウェブサイト：<http://www.city.kakamigahara.lg.jp/>

## 新庁舎の機能

### 主な意見の概要（耐震性・防災拠点）

- 耐震補強工事は先を見ればムダな費用を使うだけである。この機会に長期的な視野に立ち想定を上回っても耐えられる強固なものを作るべき。
- 事務所機能だけでなく、災害時にも不自由なく使用でき避難場所としても機能するような施設としてほしい。
- 非常時の市民の受け入れや食料、電源の確保など震災などの非常時を考えた設計に。

### 市の考え方の概要

市庁舎の使命は、**必要な市民サービスを提供**するとともに、**市民の安全・安心を守る防災拠点**であることです。新庁舎は、大地震後にも補修をすることなく建物を使用でき、日常と変わりなく機能できることを目標とし、**人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られる最高水準の耐震性能を確保**します。

災害発生時には、**災害対策本部が設置され、被害状況の速やかな把握、重要な方針・対策の決定、市民等への情報提供**など、市職員・関係機関が一丸となって、災害対応への様々な施策を打ち出します。**迅速な初動対応を確立するため**、新庁舎には、**常設の災害対策本部機能の整備**を行います。また、災害対策本部を機能させるために**必要な情報受発信設備などの資機材を整備**し、消防本部との連携など**災害対策活動に備える計画**とします。

### 主な意見の概要（市民の使いやすさ）

- 父が亡くなったとき、各種手続きを複数の窓口でする必要があり、とても大変でした。一ヶ所の窓口で手続きが済むとよい。
- 窓口の仕切りカウンター（隣の方の顔や声、プライバシーを守る）は是非採用してほしい。
- 高齢化社会を見据えたバリアフリーを基本として考え、子供連れの親が容易に来訪できるようにする。
- 道路から入りやすい設計と十分な駐車スペースの確保を。

### 市の考え方の概要

窓口は、本庁舎の中で市民の皆さんが一番良く利用するところです。**窓口は低層階（1～2階）に集約して配置**するとともに、**関連する手続きの担当窓口は隣接して配置**するなど、市民の皆さんが**利用しやすい窓口の整備**をしてまいります。

来庁者の**個人情報やプライバシーの保護、相談のしやすさに配慮**し、仕切りのある**窓口カウンターや個室の相談室を設置**する計画とします。

誰もが安全・安心に利用できる**ユニバーサルデザインの空間作り**を市民の皆さんのご意見をお聞きしながら、効果的な整備に努めてまいります。

新庁舎では、**現状（140台）より多い駐車台数（170台以上）を整備**する計画としています。駐車場の形態につきましては、新庁舎の配置等を考慮しながら、基本設計時に検討してまいります。

## 事業にあたっての留意事項

### 主な意見の概要

- 各務原台地の強力な岩盤に守られているが、万全の対策として一刻も早く新庁舎を。
- 仮設庁舎に費用をかけないでほしい。
- 基地と共存する都市なので、防衛省の補助金を要望し、市民税等の一般財源を抑制。
- 新庁舎建設の進め方に疑問を感じる。市民の生の声を聴き、教えをこう努力を。

### 市の考え方の概要

本市では、**南海トラフ巨大地震や活断層の地震による強い揺れが想定**されています。これらの地震は、いつ発生してもおかしくないことから、**防災拠点となる新庁舎の早期完成**を目指します。

新庁舎建設事業の財源は、**新庁舎建設のために積み立てをしている「庁舎等整備基金」を活用**いたします。また、将来に大きな負担を残さないよう、できる限り一般財源を抑えるため、**航空自衛隊岐阜基地に関連した国（防衛省）の補助金を要望**いたします。

新庁舎建設に関しては、これまで広報紙、ウェブサイト、新庁舎建設かわら版など**様々な機会**で**市民の皆さんに情報発信**させていただいているとともに、説明会やパブリックコメント（意見募集）、ワークショップなどを通して、**多くの市民の皆さんからご意見やお考えをいただいております。**